

2021医療ソーシャルワーカー業務困難性に関する調査協力方法【調査協カマニュアル】

2021年9月1日

医療ソーシャルワーカー様各位

東北福祉大学総合福祉学部
准教授 眞嶋智彦

医療ソーシャルワーカー業務困難性に関する調査協力方法について【調査協カマニュアル】

この度は、「医療ソーシャルワーカー業務困難性に関する調査について（お願い）」（以下：調査依頼文）をお読みいただきありがとうございました。

以下、調査依頼文の本調査目的、主旨、調査結果の公表方法をご理解いただいた上で調査協力意思がある方を対象に、調査協力の具体的な方法をお示いたします。

【調査協カ方法1】

本文書を含む3種類の文書を郵送で收受された方は、文書を精読いただいた後、下記研究代表者：眞嶋のメールアドレス宛、件名冒頭に【2021MSW 業務困難性調査協カ】と記入いただき空メール（本文、氏名、所属機関名の記載は不要です）をお送りください。研究代表者（眞嶋）より、調査票記入 URL を記載した返信を行いますので、同メールで URL 部分をクリックし調査票回答をお願いいたします。

【調査協カ方法2】

宮城県医療ソーシャルワーカー協会のホームページ上のアナウンスで本文書をご覧いただいている方は、本文書を含む3種類の文書を精読いただき、所属長の了解を得た後に、以下

URL : <https://forms.gle/GQqNwypv2y7Puom6>

をクリックし調査票回答が可能です。

万が一リンクがうまく動作しない場合は、

本文書 URL (<https://~Puom6>) の部分を一旦コピーし、お使いのブラウザ上で、下記の図の矢印部分にペーストしてもリンク可能です。



※調査期間：2021（令和3）年9月1日から10月31日迄

※同一医療機関に複数の医療ソーシャルワーカーが居られる場合は、各自ご検討ご協力いただけますと幸いです。

※医療ソーシャルワーカーお1人につき1回のみ調査票にご回答をお願いします。

※なお、Google フォームを用いた web 調査であり、調査票には、個人名や所属機関名等の項目がありません。このため、回答内容は各自お手元にデータ保存しておいていただき、Google フォーム入力完了後に、調査協力の同意撤回をされる場合は、2021年11月15日まで、当該データとともに下記までメールにてご教示ください。同意撤回依頼のメールには必ず返信いたしますので、その後お手元のデータはご自分で消去をお願いします。

※調査票内容、調査票記入方法などにご質問等ありましたら、下記メール宛ご教示いただければ幸いです。ご協力どうぞよろしくお願い申し上げます。

E-mail : t-majima@tfu-mail.tfu.ac.jp

以上

2021年9月1日

医療ソーシャルワーカー様各位

東北福祉大学総合福祉学部
准教授 眞嶋智彦

医療ソーシャルワーカーの業務困難性に関する調査について（お願い）

初秋の候、貴職におかれましては益々ご清祥のことと御慶びもうしあげます。

昨今、医療をめぐる社会情勢の変化は目紛しく、医療ソーシャルワーカーの皆様は、日々多様化・複雑化する社会的な要請に応えるべく日々ご苦勞の連続かと存じます。

また、長年患者や家族への直接的な支援を通して把握してきた地域医療ニーズをもとに、所属する医療機関が当該地域医療で果たすべき役割の明確化・可視化する病院管理的業務や地域医療システム構築への参画等、間接的業務、メゾ、マクロレベルでの働きも医療ソーシャルワーカーへの社会的な要請となりつつあります。

このような状況下で、現在医療ソーシャルワーカーは、これまでにないほど、業務範囲の拡大に伴う業務量や質の変化に直面し、業務の困難さを多くの方々が抱えておられるのではないかと推察しております。従いまして、早急に、医療ソーシャルワーカーの業務の困難性についての調査研究が急務であると考えております。

つきましては、医療ソーシャルワーカーの皆様に、業務困難性に関する調査に是非ご協力をお願いしたく書面にてお願い申し上げます。

なお、調査実施方法は、Google フォームを用いたweb 調査とし、ご回答いただいた医療ソーシャルワーカーの方の氏名、所属医療機関の名称、住所等が一切特定できない調査項目設定としました。また、調査結果についても、ご回答いただいた各医療ソーシャルワーカーの方々の所属医療機関や、プライバシー保護を十分考慮した形でしか公表（学術論文等）いたしません。回答に要する時間は、自由記述部分の分量によりますが、30分程度と想定しております。

調査協力は、本依頼文をお読みいただき、当方の調査目的、主旨にご賛同いただける場合のみ、同封いたしましたご所属の病院長宛の依頼書にて所属長様の了解をいただいた上で、別添【調査協力マニュアル】を参考にご協力いただければ幸甚に存じます。

なお、Google フォームを用いたweb 調査であり、調査票には、個人名や所属機関名等の項目が除外されています。このため、回答内容は各自お手元にデータ保存しておいていただき、Google フォーム入力完了後に、調査協力の同意撤回を希望される場合は、2021年11月15日まで、当該データとともに下記までメールにてご教示ください。研究データは、論文等公表後5年間保存した後、電磁データは USB メモリを物理的に破壊し処分し、紙媒体の資料はシュレッダーにて処分いたします。

以上、長文となり業務ご多忙のところ大変御面倒をおかけしますが、調査協力についてご検討の上、是非ご協力をお願い申し上げます。

末筆ながら、各医療ソーシャルワーカーの皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます

調査票内容、調査票記入方法などにご質問等ありましたら、下記メール宛ご教示いただければ幸いです。
t-majima@tfu-mail.tfu.ac.jp

2021年9月1日

病院長様

東北福祉大学総合福祉学部
准教授 眞嶋智彦

医療ソーシャルワーカーの業務困難性に関する調査について（お願い）

初秋の候、貴職におかれましては益々ご清祥のことと御慶びもうしあげます。

昨今、医療をめぐる社会情勢の変化は目紛しく、医療機関の皆様は、日々多様化・複雑化する社会的な要請に応えるべく日々ご苦勞の連続かと拝察申し上げます。

この状況下で、病院等の保健医療の場において社会福祉の立場から患者やそのご家族等が抱える心理社会経済的問題の解決調整を援助し社会復帰の促進を図る医療ソーシャルワーカーの果たす役割は医療における必須なものとなっております。

また、長年患者や家族への直接的な支援を通して把握してきた地域医療ニーズをもとに、所属する医療機関が当該地域医療で果たすべき役割の明確化・可視化する病院管理的業務や地域医療システム構築への参画等、間接的業務、メゾ、マクロレベルでの働きも医療ソーシャルワーカーへの社会的な要請となりつつあります。

このため、現在医療ソーシャルワーカーは、これまでにないほど、業務範囲の拡大に伴う業務量や質の変化に直面し、業務の困難さを多くの方々が抱えておられるのではないかと推察しております。従いまして、早急に、医療ソーシャルワーカーの業務の困難性についての調査研究が急務であると考えております。

つきましては、是非貴院の医療ソーシャルワーカーの皆様は、業務困難性に関する調査協力をお願いしたく所属長様にも、ご高配をお願い申し上げる次第です。

なお、調査実施方法は、Google フォームを用いたweb調査とし、ご回答いただいた医療ソーシャルワーカーの方の氏名、所属医療機関の名称、住所等が一切特定できない調査項目設定としました。また、調査結果についても、ご回答いただいた各医療ソーシャルワーカーの方々の所属医療機関や、プライバシー保護を十分考慮した形でしか公表（学術論文等）いたしません。

調査に協力いただくか否かについては、本依頼文をご一読いただき、当方の調査目的、主旨にご賛同いただける場合にのみ対応で結構でございます。

貴院所属長におかれましては、ご多忙中大変恐縮ですが、本調査目的、主旨にご賛同いただけましたら調査協力についてご高配賜りますようお願い申し上げます。

以上、取り急ぎお願いのみ失礼致します。

末筆ながら、貴院職員皆様のご健勝と、地域医療において欠くことのできない貴院様のご活躍をお祈りもうしあげます。

※調査票内容、調査票記入方法などにご質問等ありましたら、下記メール宛ご教示いただければ幸いです。
t-majima@tfu-mail.tfu.ac.jp